

Hiroko Takada Trio
“秋音 Akine”
Release Live



高田ひろ子 piano
小美濃悠太 contrabass
岩瀬立飛 drums

2022 11月13日(日)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無)(1drink=600~)

MC=3700+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



小美濃悠太

1985年、東京生まれ。一橋大学社会学研究科修了。幼少の頃より続けていたエレクトーンを通じてジャズに出会う。高校に入学後、ジャズを演奏できる楽器を習得するために吹奏楽部に入部。コントラバスとエレクトリックベースを平行して学ぶ。大学進学後、千葉大学モダンジャズ研究会に入部。本格的にジャズを学び始める。在学中から演奏活動を開始し、現在は東京を中心に主都圏全域で活動している。ジャズのフィールドにとどまらず、ポップスやミュージカルなど、幅広い分野で活躍している。ジャズベースを山下弘治氏、アルコ奏法を高西康夫氏、斎藤輝彦氏に師事。



高田ひろ子

大阪池田市出身。5歳からピアノを学ぶ。ジャズ奏法を高瀬アキ氏に、作曲法を二橋潤一氏・松平頼暁氏に、現代音楽ピアノ奏法を平尾はるな氏に師事。1995年より、自己のグループを結成。以来5枚のリーダーアルバムをリリースし好評を得る。96年~04年には、スイス人Basist: Bänz OesterとのDuoでスイス・日本をツアー。他にも様々な楽器や歌とのコラボレーションや、ソロ活動も行っている。



岩瀬立飛

日野元彦、坂田稔、Peter Erskineらに師事、その類まれなセンスと独特のグループで前田憲男、松岡直也、佐藤允彦、国府弘子、エリックミヤシロら数多くのミュージシャンから厚い信頼を集める“Tappy”こと岩瀬立飛。自身が所属するバンド「宴」をはじめ、常にポジティブな姿勢でチャレンジし続けるその姿は、まさにリズムの錬金術師といったところか。ジャズからオーケストラまで扱える作編曲家としても手腕を発揮する岩瀬だけに、その演出にも期待がかかる！